

# ハザードマップの解説、ヒント


■ハザードマップポータルサイトの使い方 (例) ①

- 自分が住んでいるところには、どんな災害リスクがあるか調べてみよう。

①URLの直接入力または検索してください。

<https://disaportal.gsi.go.jp/> または [ハザードマップポータルサイト](#)

②webページを開くと、次のような画面が出てきます。



■ハザードマップポータルサイトの使い方 (例) ②

- 「土砂災害」の災害リスクを調べてみよう。

①「場所を入力」のところに住所を入力します。【例：多治見市小田町】

②「虫眼鏡のマーク」をクリックします。



■ハザードマップポータルサイトの使い方 (例) ③

- 「土砂災害」の災害リスクを調べてみよう。

③入力した住所周辺の地図が出てきます。

④表示の位置、縮尺なども変更可能です。

**縮尺の変更 (拡大・縮小)**



**地図の種類の変更**

■ハザードマップポータルサイトの使い方 (例) ④

- 「土砂災害」の災害リスクを調べてみよう。

⑤【土砂災害】のアイコンをクリックします。

⑥そうすると、「土砂災害警戒区域」などが表示されます。

**【土砂災害】をクリック → 「土砂災害警戒区域」などを表示**



■ハザードマップポータルサイトの使い方 (例) ⑤

- 例えば「ハザードマップ」を調べてみよう。

⑤右上の【虫眼鏡マーク】のアイコンをクリックします。

⑥次に、確認したい(住んでいる)場所のところで、クリックします。

**【虫眼鏡マーク】をクリック**



※その他、洪水や津波などの災害リスクの表示、計測や作図などの表示が可能です。詳しい使い方は、右上にある【使い方】を見てください。

■ハザードマップポータルサイトの使い方 (例) ⑥


- 「ハザードマップ」を調べてみよう。

⑦自治体により公表されているハザードマップの種類が表示されます。

⑧確認したいハザードマップを選択すると、自治体のwebページへ移動します。

**【公開URLを開く】をクリック**

**確認したいマップを選択**



※ハザードマップについては、各自治体のホームページ等にて公表されていますので、詳細はそちらで確認をお願いします。